



2年学年だより

発行日：令和3年12月1日（水）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：遠藤 広樹 NO. 7

生徒会役員選挙が行われました！

11月16日（火）に新生徒会本部役員を選出する立会演説会が行われました。今年度は初の試みとして、google meet を使い、各教室においてオンラインで開催しました。候補者たちは「全校生徒が学校生活を楽しいと思える瞬間を増やしたい」「できなかった、残念。で終わらせない。今できることを」「より多くの生徒会員の意思を企画に反映する」など、思いを熱く語りました。同日に投票した結果、次期生徒会本部役員が以下の通り決定しました。

生徒会長	2年3組	■■■■	さん
役員	2年1組	■■■■	さん、2年1組
	2年2組	■■■■	さん
	1年2組	■■■■	さん、1年3組
		■■■■	さん



現・新 生徒会本部役員の皆さん

今年度、生徒会本部は「TPO で変えよう 我らの日常」という生徒会目標を掲げて活動しています。生徒会活動が制限されている中、一人ひとりが生徒会目標をより意識できるようにポスターコンクールをおこなったり、3 学年のつながりを少しでも感じ、お昼の時間をより楽しくするための生徒会ビデオを放送したりしてきました。また、より満足のいく学校食堂のために、食堂の方と共同で食堂アンケートを実施しました。3 学期には中学全体が楽しく交流しながらマナー向上のために学べるイベントも企画中です。

12月から3月までの4カ月、現役員と新役員の10人がともに活動することで、生徒会活動の引継ぎとパワーアップ目指していきます。

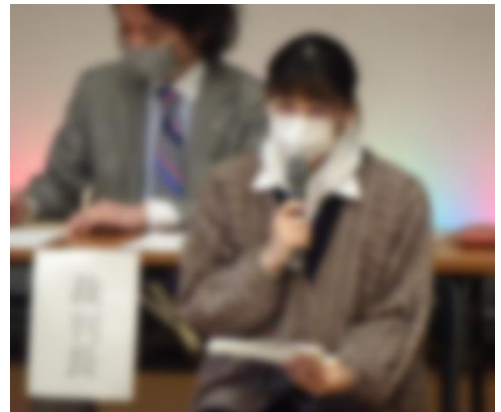
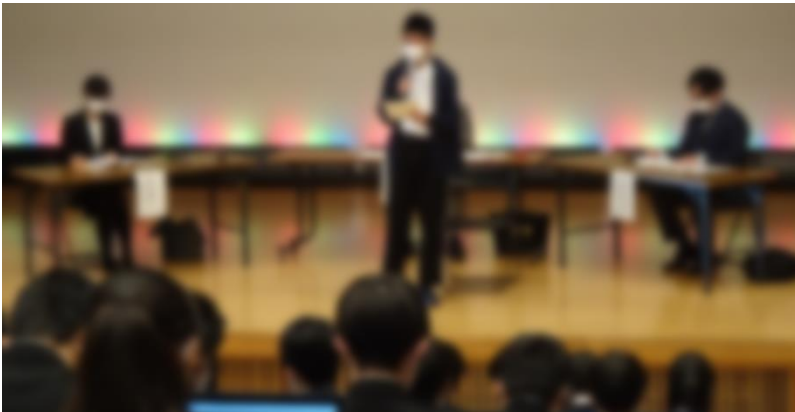
本部役員は附属中生の代表として活動していきますが、附属中学校を作っていくのは全校生徒のみなさんです。南高校附属中学校は今年度開校10年を迎えました。その時その時の、たくさんの附属中生だった先輩たちが皆さんの生活する学校の土台を築き上げてくれました。これからはさらによりよい学校を目指し、全校生徒で明日の附属中学校をつくっていきましょう。一人ひとりの姿勢から学校は変化していきます。さまざまな生徒会活動（委員会活動やクラスの係活動や学校行事など）は附属中生一人ひとりの成長のチャンスです。創意工夫のある生徒会活動を通して、附属中生が心身ともにたくましく成長していくことを願っています。

EGG 講座☆法教育講座を行いました

11月20日土曜 EGG にて、弁護士の方々4人をお迎えして、法教育講座を行いました。前半は南高ホールで模擬裁判を行いました。模擬裁判で演劇部の■■■■さん演じる原告と、■■■■さん演じる被告人の証言を聞いたところで、いったん9期生は有罪か無罪かをアンケートしました。

後半は各教室に移動し、弁護士の先生方から説明を受けながら、グループに分かれて細かな調書を読んだり、証言のひとつ「暗闇の中の30メートル先の顔が見えるか否か」について4階廊下を使って実験したりして、もう一度よく考えたのちに、再び有罪か無罪かをアンケートしました。すると、なんと！1回目と2回目のアンケート結果が大逆転しました！疑わしきは罰せず、人を裁くことの難しさを実感した一幕でした。

最後に、キャリア教育としてそれぞれの弁護士の方々から「弁護士という仕事について」お話しいただき、質疑応答の時間となりました。この講座は1期生の先輩時からずっと続いていて、これを機に法曹界を目指すようになった先輩もいます。9期生には今回の講座がどのように響いたでしょうか。感想を一部紹介します。



アンケートはクロムブックを用いることで、学年全員の集計結果を即座に確認することができました！

1組：■■■■ 裁判を実際に体験したのは初めてだったので、よい学びになったし、とてもおもしろかったです。裁判では証拠のあるものだけを中心に話が進んで行くと思っていたので、考察から証拠を探したり、一般人の常識と照らし合わせたりして裁判が行われることを知り、裁判や法律のことなどをもっと知りたくなった。

1組：■■■■ 法で判断することは重大だから、裁判員制度で色々な視点から判断しているんだなと思った。最高裁の判例をいくつか見たが、色々な視点から判断されていた。例えば殺人罪なのに懲役3年などもあった。講座を受けていて勉強になった。法について学ぶきっかけを学校で受けることができ、良い経験になった。

2組: 裁判はすごく難しいなと思いました。被告人と原告の主張していることにどちらも曖昧な部分があったので、有罪にして良いのか無罪にするべきなのか決めるのが大変でした。怪しいと思っても確実な証拠にならないのでどちらにしたら良いのか分からず、話し合いを重ねることの大切さを感じました。

2組: 100%とまではいなくても「ほぼ」というあいまいな基準で有罪になるから、たまにえん罪が生まれるのだと納得した。そう考えると上告の重要性がすごくわかった。六法といっても実際の事件では複数の分野にまたがることも多々あるだろうから、エキスパートと言っても他の分野もわかっていないといけないのが大変そうだなと思った。

3組: 弁護士や裁判官、検察官になるためにはたくさんの試験を突破しなければいけないことを初めて知った。1日8時間の試験を5日間もやると聞いたときにはとても驚いた。裁判官は人を裁くという重責を背負っているということを改めて実感した。でも、やりがいのある仕事なんだなと思った。

3組: 法によってとりしまるには色々なことを考えたうえでしっかりと判断し、それから決断することが大事だと思いました。なぜなら有罪か無罪かはその人の人生を左右する大きな決断だと思うからです。私も物事をしっかり考えてから、判断、決断をできるようにしたいです。

4組: 法律という基準があっても、有罪か無罪か、またどのような罰にするのかを決めるのは難しいことだと感じた。裁判という制度が人を裁くだけでなく、その人に最適な道を見つけるものだからだと思う。その人のバックグラウンドも考慮して裁判を行う法律家の人たち、特に罪を犯してしまった人に寄り添う弁護士はすごいなと思った。

4組: 以前から法律に関わる仕事に興味があり、今回詳しく知ることができて良かったです。裁判は一人の人間の人生を左右するものであるため、「多くの視点を持つ」ことがとても大切だとわかりました。また証言や黙秘権によって判断してはならず、必ず証拠に基づいて判断しなければいけないこともわかりました。

令和4年度☆9期生徒会役員の抱負

11月16日(火)に令和4年度生徒会役員選挙が行われました。いよいよ9期生が附属中学校をかじ取りする準備期間に入っていきます。生徒会本部役員だけでなく、各種委員会の委員長、各部活の部長など、9期生が様々な場面で、お互いに適材適所活躍し支え合いながら、後輩たちを導いていく姿を期待しています。

生徒会長: 今年度も後半となり、来年度からは我々9期生徒会本部が主体となって活動していきます。特に皆さんの声を直接聞くことができる生徒総会や意見交換会などのコミュニティを通して、みんなの意見が活きる学校づくりに力を入れていきたいです。

2年役員: みなさんの笑顔をもっと広げるために学校行事を今以上に盛り上げ、様々な交流の機会を増やします。本部役員になれたのも周りの支えがあったからこそです。今度は私が支えます。よろしくお願いします。

2年役員: コロナ禍の今、楽しみにしていたイベントの中止や、休日に友だちと遊びに行くのも困難で、実感のないストレスがたまりやすいと思います。だからこそ誰もが楽しく、毎日来たいと思える学校にしたいです。

2年役員: 附属中学校の中での交流を更に増やしていきたいと思っています。また生徒会員のみんなの意見をよく聞きに行き、みんなの要望などに応えていきます。精一杯頑張ります。

インキャンまでカウントダウン！

インキャン学年集会で集合写真の練習です。御殿場では背景に真っ青な富士山！…の予定。

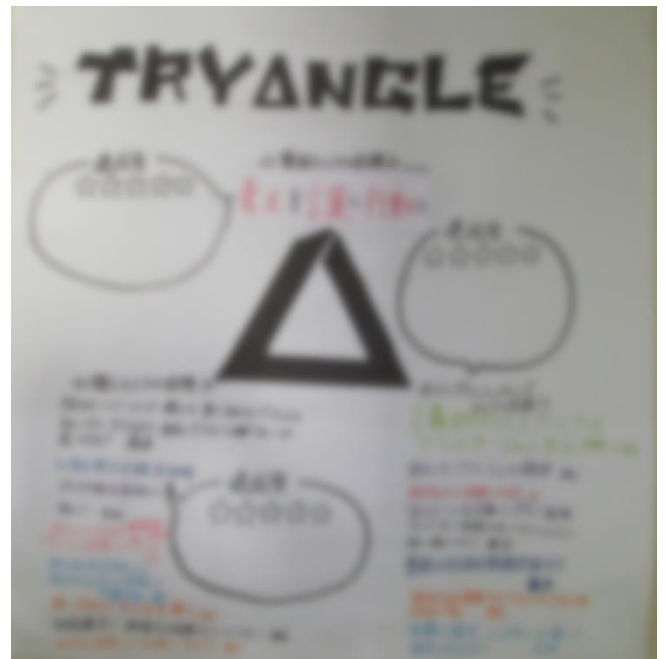


11月11日(木)柔道場にて、イングリッシュキャンプ実行委員会主催の学年集会が行われました。イングリッシュキャンプのスローガンは「TRYANGLE」。「一歩踏み出す、積極的に、応援」の TRY と、「多面的な見方、人のよいところに目を向ける、固定概念を払う」の ANGLE の意味が込められています。英語を使うこと、楽しむこと、協力すること。たくさん ANGLE から TRY しよう！

集会では『Let's Go Hunting Together(英語版猛獣狩りに行こう)』を楽しみ、集合写真撮影の練習もしました。富士山ポーズもばっちりです。

インキャン当日まで、いよいよカウントダウンです。期末試験が終了したその日に結団式を行い、翌日出発です。

9期生初めての校外学習であり、初めての宿泊行事です。わくわくする気持ちを無限大にふくらませて、思いっきりイングリッシュキャンプを楽しみましょう！



霜月の福袋

土曜 EGG のあとに、学級懇談会が行われました。どの教室も、9期生も楽しんだグループワークに保護者同士で挑戦していただいたり、写真をご覧になったり、和やかな雰囲気になりました。たくさんのご参加ありがとうございました。期末試験が終わると、待望のイングリッシュキャンプ！イングリッシュキャンプが最高の思い出になるように、健康第一で当日を迎えましょう。9期生の皆さん、期末試験とはいえ無理をせず、しっかり睡眠をとってくださいね！